

第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）プレ大会 兼  
第18回全国障害者スポーツ大会車椅子バスケットボール競技  
北信越・東海ブロック予選会実施要領

## 1 競技規則

平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、車椅子バスケットボール競技規則（一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟制定）およびこの要領の定めるところによる。

## 2 チーム

- (1) チームの構成は、コーチ1名、アシスタント・コーチ1名、マネージャー1名および選手12名以内とする。ここでいうコーチとは、ゲーム中、実際にチームを指揮するものを指す。
- (2) コーチ、アシスタント・コーチまたはマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手人数は選手を兼ねるコーチ、アシスタント・コーチ、マネージャーを含めて12名以内とする。
- (3) 男女混合のチーム構成も可とする。

## 3 競技方法

- (1) 試合は、福井県チームを除くトーナメント方式とし、3位決定戦を実施しない。また、トーナメント戦以外に、福井県チームを含む交流戦を実施する。
- (2) トーナメント戦の試合時間は、10分クォーター制とし、第1ピリオドと第2ピリオドの間および第3ピリオドと第4ピリオドの間にそれぞれ2分のインターバルをおく。第2ピリオドと第3ピリオドの間に10分のハーフタイムをおく。
- (3) 交流戦の試合時間は、10分ハーフとし、第1ピリオドと第2ピリオドの間に2分のインターバルをおく。第2ピリオドが終わったとき両チームの得点と同じだった場合は、公益財団法人日本バスケットボール競技規則第8条8.7を適用する。

## 4 服装等

- (1) 出場選手は、濃色と淡色（白色）の2種類のユニホームを用意し、原則として組み合わせ番号の若いチームが淡色（白色）のユニホームを着用すること。ただし、第2試合目以降については、両チームの協議により、ユニホームの色の濃淡を変更することができる。
- (2) 背番号は0、00および1から99までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりとわかるようにつけること。

## 5 試合球

試合球は、公益財団法人日本バスケットボール協会検定7号球（モルテンGL7X）とし、主催者が用意する。

## 6 組合せ

組合せは、平成30年に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会の下に代理抽選の上、決定する。

なお、前回大会で優勝したチームを第1シード、準優勝したチームを第2シードとする。

## 7 出場選手の持ち点の確認および競技用車椅子の検査

出場選手は、大会当日に一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟発行の選手登録証および持ち点カードにより、補装具等の確認を受けるとともに、競技用車椅子の検査を受けること。

持ち点について疑義が生じたときは、審査を行って持ち点を変更することがある。

## 8 チーム・ベンチおよび交代席

チーム・ベンチ等は、組合せ表の番号が若いチームをオフィシャル・テーブルに向かって右側とする。

## 9 その他

(1) 監督会議は、競技開始前に行い、その場において申し合わせ事項を設けることができる。

なお、監督会議の時間および場所については別途通知する。

(2) 開始式、表彰式に参加する選手は、原則として、ユニホーム（シャツ）またはジャージ（いずれかにチームで統一）を着用し、競技用車いすで参加すること。

(3) 競技場内へは、各チームを構成する者のほか、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員および情報支援ボランティアならびにあらかじめ許可を受けた報道関係者および視察員等関係者以外は立ち入ることができない。

(4) 会場内の秩序については、競技役員の指示に従うこと。

(5) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。

(6) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途定める。